

年 月 日

大橋喜一作

の上演許可願い。

上演団体名

団体責任者名

印

住所

電話・FAX番号

演出者名

スタッフ

出演者

上演回数

上演日

上演会場

住所

電話・FAX番号

上記、上演料として

金

をお支払いします。

様のご依頼の

大橋喜一作

の上演を許可いたします。

年 月 日

大橋喜一作品の上演及び作品管理責任者

〒215-0017 神奈川県川崎市麻生区王禅寺西 3-31-21

※この書類の原本（双方の捺印）は著作権者・大橋宣子の実弟・柴田雄介が保管する。

この度は大橋喜一作品の上演をご依頼いただきありがとうございます。

別紙に必要事項をお書き込み下さい。

その上で下記まで郵送もしくはFAXで返信下さい。

〒215-0017 神奈川県川崎市麻生区王禅寺西 3-31-21

FAX 044-953-9517

米倉日呂登

こちらで確認の上、上演許可をさせていただきます。

確認させて頂きましたら、改めてこちらからご連絡致します。依頼書に必要事項をお書き込み頂き、押捺した依頼書をお送り下さい。

(参考：上演料は売り上げの2% (チケット料金の2%×入場者数) で経常させて頂きたいと考えています。また、この上演料は大橋喜一文庫として大橋喜一作品を管理していく上の費用として、一部活用させて頂きます。)

また、A5版のコピー用紙による台本を一部**500円**でご用意出来ます。

(まだ、全作品の版は出来ていないので、多少お時間を頂くこともございます。)

但し、

大橋喜一作として上演される条件としては、台本の改定はご遠慮下さい。改定をする場合は改めて、改定内容(上演台本)を添えて申請して下さい。

上演拒否をするものではありませんが、改定内容、大橋喜一の名前の扱い方などをご相談させていただきます。

また、公演条件(出演者数、公演予算)等によって、台本改訂が必要となったときに、依頼があれば、私の方で改定をさせていただきます。その他上演のお手伝いとして、資料の提供や、監修、演出、スタッフの派遣協力も出来ます。

大橋喜一は単に一時代を築いただけではなく、今もって確立されない、民主的な視点からの作品を、描き続けたただ一人の劇作家です。ですから大橋喜一作品は次の世代へと繋いで行かなくてはなりません。どうぞ今後とも、大橋喜一作品を取り上げて上演して下さいますようお願いいたします。

大橋文庫を開設いたしました。<http://www.oohasikiichi.jp/>

大橋喜一は劇団民藝に所属する以前(戦後直ぐ)より、劇作家として活躍し、日本で最も上演回数が多い作家です。大橋喜一作品は民藝だけではなく、他の専門劇団、自立劇団、市民劇団、学生演劇(高校演劇部など)で今も上演されています。

大橋喜一の仕事をまとめた(作品の無料閲覧サイト)ホームページを開設しました。どうぞこの機会覗いてください。要望があれば、上演案内も掲載させていただきます。